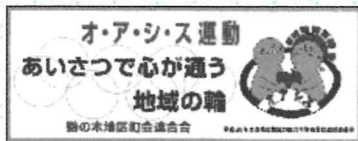


鵜の木地区地域情報紙 第114号

さんぽみち



発行：地域力推進鵜の木地区委員会
 編集：鵜の木地区 地域情報紙編集委員会
 事務局：鵜の木特別出張所
 電話 (3750)4241 FAX (3750)2418

鵜の木特別出張所管内の人口
 (令和6年8月1日現在)

男	12,687人
女	14,177人
計	26,864人
世帯数	15,287世帯



うのき水辺の楽校とSDGs

昔の多摩川では、漁をしたり、遊んだり、人との関わりがありました。それが今から60年前、生活排水が流れ込み、たくさんの魚や生き物が死んでしまいました。その後、下水道が整備され、水がきれいになり、魚や鳥が戻ってきました。

この恵まれた環境を、子供たちに完全に体験してもらうため、うのき水辺の楽校は11年前に発足しました。ガサガサ生き物調査、野鳥観察、カヤック体験などの活動を行っています。

コロナ禍で活動が制限されましたが、「子供スタンプ育成プログラム」により、継続的に学び、他の参加者に伝え、学んだことをまとめて発表しています。将来の環境リーダーに育てられればと思っています。

活動に興味がある方、ぜひご協力ください。
 (編集委員 貝増 ますみ)

SDGs 未来都市 大田区

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを保つ

うのき水辺の楽校HP QRコード

大田区オリジナル SDGsロゴマーク

SDGs 未来都市 大田区

鵜の木特別出張所で販売中です!!

就任の挨拶

鵜の木地区町会連合会会長 堀江 敏雄

この度、鵜の木地区町会連合会会長を務めさせて頂きます堀江です。どうぞ宜しくお願いします。大芦重雄会長、長きに渡りご活躍有難うございました。大芦会長に続き地域を代表するには、未熟な点は多々ありますが、先輩方のお力、皆様のご協力のもと、この任を受けさせて頂きました。オアシス運動の町鵜の木地区は「共助は隣人に関心を持つことから始まる」と、ご近所とのコミュニケーションを図り、顔と顔の見える関係づくりを行動の基本として参ります。古くから地域も「不易と流行」があり、変化することで継続します。現在の流行はSDGsであり、がむしやらに進めることでなく、ゴールを見据え協力することが必要です。

今後とも様々な行事を通し、連合町会相互のコミュニケーションを図り、次の方々に引き継いで参りますので、皆様のご協力方よろしくお願いたします。

千鳥小学校校長 清水 みさ

この度、千鳥小学校長に着任いたしました清水みさと申します。千鳥小は、地域、保護者、卒業生…本当に大勢の方々々に支えていただいております。

今年度、本校は、「問い掛け」と「つながり」から広がる可能性を合言葉に教育活動を進めていきます。地域との繋がりを大切に、関わりの中で児童が自己のよさに気付いたり可能性を広げたりすることができるよう、教職員一同、全力を尽くしてまいります。ご支援の程どうぞよろしくお願いたします。

地域包括支援センターたまたがわ センター長 上田 栄一

この度、大田区地域包括支援センターたまたがわセンター長に着任しました上田栄一です。

これまで特別養護老人ホームやデイサービスで勤務し、相談業務を中心に、管理者業務に携わってまいりました。包括支援センターの業務は初めてですが、これまでの経験も生かし、皆様がいままで住み慣れたこの地域で安心して暮らし続けることができるよう、職員協同でご支援していく所存です。何卒、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

着任の挨拶

東調布第三小学校校長 並木 昭

本年4月に、東調布第三小学校に着任いたしました。本校は今年度、新校舎の一部の使用を開始し、こどもたちは、新しい環境での学校生活を楽しんでいきます。開校100周年の令和10年度に、本校の改築工事が完了いたします。これからは、「こどもたち、保護者、地域に信頼される学校」「地域と共に歩む学校」を目指し、教職員一同、こどもたちの安全と幸せのために全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

千鳥小学校校長 清水 みさ

この度、千鳥小学校長に着任いたしました清水みさと申します。千鳥小は、地域、保護者、卒業生…本当に大勢の方々々に支えていただいております。

今年度、本校は、「問い掛け」と「つながり」から広がる可能性を合言葉に教育活動を進めていきます。地域との繋がりを大切に、関わりの中で児童が自己のよさに気付いたり可能性を広げたりすることができるよう、教職員一同、全力を尽くしてまいります。ご支援の程どうぞよろしくお願いたします。

地域包括支援センターたまたがわ センター長 上田 栄一

この度、大田区地域包括支援センターたまたがわセンター長に着任しました上田栄一です。

これまで特別養護老人ホームやデイサービスで勤務し、相談業務を中心に、管理者業務に携わってまいりました。包括支援センターの業務は初めてですが、これまでの経験も生かし、皆様がいままで住み慣れたこの地域で安心して暮らし続けることができるよう、職員協同でご支援していく所存です。何卒、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第36回 全国鵜の木まつり開催

全国各地(14地区)にある「ウノキ」ゆかりの「もの」ことが勢ぞろいし、鵜の木駅中心に6商店会主催で開かれました。

秋田県男鹿市鵜木(ウノキ)からは「なまはげ」が泣く子はいねがーと練り歩き、各地の「ウノキ」から寄せられた物産市も好評。地元鵜の木発祥の「あげばん」も400個が即完売に。アトラクションひろばでは昨年のNHK紅白歌合戦に出演した東京高校のチアリーディング部の演技と吹奏楽部の演奏がまつりに華を添えました。

(編集委員 村松 茂)

7月20日(土)

鵜の木公式LINE 始めました。

ぜひ、お友だち登録してください。「さんぽみち」もご覧いただけます。

QRコード

表彰

自治会・町会役員永年在職者表彰

- 鵜の木東町会 川合 勇夫
- 鵜の木西町会 池田 雅俊
- 鵜の木二丁目町会 大石 美佐子
- 鵜の木三丁目町会 中野 善則
- 千鳥北町会 内山 静子
- 引地 幸子
- 太田 幸吉
- 廣子 幸吉

大田区交通安全功労者感謝状受賞

- 南久が原一丁目町会 吉崎 迪三 (敬称略)

令和6年度 大田区自治会・町会長大会感謝状受賞

- 会長歴及び副会長歴20年 千鳥北町会 吉崎 迪三 (敬称略)

編集後記

新型コロナが五類に移行して1年以上が経ち町会行事も徐々にコロナ前の活動に戻ってきた感があります。鵜の木地区の町会でも様々な活動が行われていますが最近よく耳にする「SDGs」持続可能な開発目標のゴールへとつながっている取り組みがたくさんあります。

今号ではPTA、PTOの活動や地域の小学校、中学校を支援している各団体を具体的に紹介しています。これからの未来にわたり住みやすい町、住み続けられる町へ地域をあげて取り組んでいきましょう。

編集委員 岡本 信夫

鵜の木東町会会長 久保井 良実

今年度より、川合会長から引き継ぐ事になりました。

地域活動を通して、防災・防犯の関心や意識を広め、助け合いや思いやる心の交流で、地域の輪を大きくしていく力になれば幸いです。

引き続き、地域の皆様の積極的なご協力、ご参加をお願い申し上げます。

時代とともに、変化する環境に対応しながら、安心・安全で暮らしやすい町づくりを町会員の皆様と、力を合わせ取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

千鳥北町会会長 久保井 啓雄

こんにちには、この度、吉崎会長の後任に着くことになりました。た久保井と申します。この町に生まれて70年になります。長い間この町で過ごしてきましたが、地域のためになをしてきたか振り返ると何となくしたことをしてこなかったと思います。

この先は、今までの遅れを取り戻し、地域のために、微力ではありますが、この職に取り組んでいく次第です。

皆様と共に、よりよい、より住みやすい、より安全な地域作りのため頑張りたいと思います。地域の皆様、ワンチームでいきましょう。

子どもたちや地域のために活躍している方々の活動を紹介します



東調布第三小学校

東調布第三小学校合唱団

東調布第三小学校PTA会長の林です。5月で会長6年目となりました。この間、児童数は約430名から約680名に増加し、賑やかな子どもたちの声が新校舎に響いています。



地域活動の一例として、東調布第三小合唱団を紹介いたします。当団は、長く音楽専科を担当されていた高橋保則先生にご指導頂いてきましたが、今年度より音楽専科に白石祥子先生をお迎えし、4~6年生の団員52名と活動をスタートしました。先生方の、熱く、子どもたちに寄り添ったご指導のもと、日々練習に励んでいます。

今年も、地区内のお祭り等で皆様に合唱を披露できることを楽しみにしています。引き続き、東調布第三小学校をよろしく願いいたします。(PTA会長 林 剛一)

第三いきいき活動

20年前、当時の東調布第三小学校の校長先生から依頼を受けた「第三いきいき活動」は、子どもたちが安全に楽しく学べる場所として、毎月一回、7講座を提供してきました。



活動日は安全のための準備を整えて子どもたちを迎え、笑顔や成長を楽しみに活動しています。振り返ればその積み重ねの20年は「もう20年も経ったの?」という感覚です。

今年4月20日には新家庭科室で【20周年のお祝い会】を開催しました。この日は歴代の校長先生・副校長先生・区議会議員、鶉の木東町会長をお迎えして、20周年の無事故を感謝しながら思い出話に花が咲きました。また地域の方からの温かい労いの言葉は、私たちスタッフの励みになりました。私たち「第三いきいき活動」は、これからも子どもたちと一緒に楽しく活動していきます!(委員長 天明 裕子)

嶺町小学校

PTO (Parent Teacher Organizationの略。 「O」は「学校『応』援団」も意味する。)

嶺町小学校PTOでは児童の安全のため朝の交通安全見守り、車両進入を防ぐバリアード出し、防災訓練等を行っています。共働き世帯が増加し完全ボランティア制で行っているこれらの活動も、人手不足がありながらもなんとか継続できています。通学路では予測できないことが多く起こります。暴風により選挙看板が倒れるなどのトラブル対応、忘れ物をして急いでいたり、何か困ったことがありそうな子のサポート、駅に向かって急ぐ大人や中高生、自転車や車との接触防止など、小さなことから重大なことまで様々です。



地域の方にもボランティアで多くの場面でご協力を頂いております。今後も継続して地域とともに安全防災活動を続けていきたいと思っております。(副団長 藤本 妙子)

スクールサポートみねまち

嶺町小学校の地域学校協働本部スクールサポートみねまち(略してスクサポ)は、学習や学校運営を支援するためのコーディネートをしております。



例えば「多摩川活動」として、目の前に広がる多摩川に入って「水の流れの観察」や「生き物採取」等の体験学習を全学年で行っていますが、安全に実施できるように先生と連携し、見守りや学習の補助をしています。

その他、町探検、スーパーマーケットの見学、鶉の木清掃活動、図書館の運用、学校公開や学習発表会等の見守りや受付、茶道教室の開催等、それぞれの活動毎に保護者サポーターを募り、活動の取りまとめを行っております。

これからも保護者や地域の方々と共に、「学校の応援団」として活動してまいります。(縣 孝子)

千鳥小学校

PTA

千鳥小学校のPTAでは、共働き世帯も多い中で、できることをできる範囲での活動を目指しています。子どもたちに寄り添いながらも、保護者・学校とも負担にならない形で子どもたちの健全育成に取り組んでいます。



家庭・学校・地域の連携を強化し、学校内にとどまらず地域密着型の活動を通じて、いつもどこかで誰かが子どもたちに寄り添いサポートしています。その活動を通じて子どもたちには社会貢献の精神も育てています。

子どもたちの健全育成の大切な源泉である保護者に対しては、敷居を下げて活動を簡素化し、PTA活動にご協力・ご理解頂きやすいよう、毎年活動の振り返りと改善に取り組んでいます。(会長 檜垣 哲也)

チーム千鳥地域協力隊

チーム千鳥とは、地域で作る千鳥小学校の応援団です。学校や先生、子どもたちの笑顔のために、“できる人が できる時に できることを”をモットーにたくさんの方が支えてくださっています。チーム千鳥には、



- ・雨の日も猛暑の日も、毎朝子どもたちの登校を見守る【みまもり隊】
- ・子どもたちを思いっきり遊ばせてくれて、力仕事は何でもやってくれる【2・6おやじの会】
- ・子どもたちに感動の読み聞かせしてくれる【おおきな木】
- ・図書館を季節ごとに素敵に飾ってくれる【図書ボラ】
- ・学級園や理科室掃除、その他先生たちを全力で手伝う【おたすけ隊】
- ・玄関をいつも飾って朝子どもたちに元気を届ける【PLOVERS】

があります。それぞれが手を組みONEチームとなって千鳥小学校を応援しています。ぜひ皆様も一緒に応援団になりませんか。(本部長 澄野 華代子)

大森第七中学校

PTA

令和六年度大森第七中学校PTA会長の屋馬みすずです。鶉の木地区の皆様にはいつも温かく七中生を見守っていただきありがとうございます。



大森七中PTAは数年前から、生徒が地域で活躍できる機会をつくることを心がけて活動しています。特に大田区子どもガーデンパーティー、全国鶉の木まつり、連合運動会等では多くの七中生がボランティアとして参加し地域の方から、数多くの感謝の言葉を頂いています。このような機会を増やすことで、最終的には地域の方々と繋がり、震災などの備えになればと考えています。

地域で活動することにより、自分の住む地域を知り、自分たちで守るそんな地域愛にあふれた生徒が増えるようなPTA活動を続けていきたいと思っております。(会長 屋馬 みすず)

スマイルセブン

七中スマイルセブンは、学校の要望に応えるために活動しており、現在約50名が登録しています。発足当初は図書館支援から始まり、現在では園芸、入学式や運動会の補助、職場体験前の職業講話、夏休みワークショップなどを通じて学校を支援しています。



今年度から、英語、文芸、ボランティア部と連携し、宮沢賢治について調査し、そのゆかりの花を育てる活動を始めました。宮沢賢治は有名な童話作家や詩人であるだけでなく、チェロも好み、約100年前には千鳥に住むトロンボーンやチェロ奏者の自宅を訪れ、レッスンを受けたことでも知られています。その際レッスンのお礼で、宮沢賢治が当時最先端の花壇の指南をしています。

この活動はまだ始まったばかりですが、子どもたちのために地域の皆様のご協力をいただきたく、よろしく願いいたします。(副会長 駒井 聖賢)